

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	立川市 立川市長 清水庄平				
事業者番号	A	1	0	0	0

2 報告する事業所等の全体の状況(2019年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	20	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	3,333	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	119	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	508	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	7,535	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所

評価対象事業所	<input type="checkbox"/> 義務提出事業所	<input checked="" type="checkbox"/> 全事業所
---------	----------------------------------	--

5 評価対象事業所における直近5か年度の状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
合計二酸化炭素排出量	7,464.00	7,707.00	7,788.00	7,785.00	7,535.00	t
合計延床面積	554,052.22	575,005.81	589,838.58	586,875.69	584,135.83	m ²
合計原単位	13.47165	13.40334	13.20361	13.26516	12.89939	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	-0.23	%
平均合計原単位改善率	1.07	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	2	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	1.43	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	—	ランク
---------------------	---	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	<input type="checkbox"/>	目標達成した。
--------------	--------------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	2
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	地球温暖化対策として、各施設で、クールビズ、ウォームビズの徹底を推進し、室内温度が、夏は28℃、冬は20℃になるよう適切な空調の管理を行う。昼休みや退庁時など、不必要な照明は消灯する。また、本庁舎においては、午後5時45分の消灯の促しを実施する。長時間使用しないパソコンやプリンター等の電気機器類は、不使用時に電源を必ず切るようにする。低公害車の導入を図る等、CO2削減に取り組む。市独自の環境マネジメントシステム「エコオフィスプラン21」の徹底を図り、各職場の職場推進員を中心に省エネ、省資源、ごみ減量・リサイクルの推進に取り組む。施設改修及び設備更新時は、省エネに寄与する高効率な機器等を可能な限り導入する。			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築	A101	地球温暖化対策の方針等の設定
			A102	温暖化対策推進担当の配置
			A103	具体的な取組目標と内容の設定
		A107	排出状況の整理・分析・提供	
		A116	所内会議・研修会等で報告	

12 特記事項

--